

製品安全データシート

会社情報

会社 : 株式会社 ケー・エー・シー
住所 : 兵庫県尼崎市久々知西町 2 丁目 1-20
担当部門 : 試薬事業部
電話番号 : 06-6435-9747 F A X 番号 : 06-6435-9748
緊急連絡先は担当部門に同じ。

作成 : 2016 年 5 月 17 日 改訂 : 2018 年 7 月 1 日

整理番号 L A B 2 2 2

製品名	リポリシスキット (Lipolysis Assay Kit) 中の Glycerol Reagent A カタログ番号 : BBLIP1NC、BBLIP1NCL1、BBLIP3NC、BBLIP6NC	
物質の特定	単一製品・混合物の区別	混合物
	化学名	アジ化ナトリウム
	成分及び含有量	凍結乾燥品のため濃度不明 (水で溶解後は 0. 0 5 w / v %)
	化学式又は構造式	NaN_3
	官報公示整理番号 (化審法, 安衛法)	1-482
	C A S N o .	26628-22-8
	国連分類	クラス 6. 1 (毒物)
	国連番号	1687 (アジ化ナトリウム)
危険・有害性の要約	物理化学的危険性 : 自己反応性化学品 タイプ G 健康に対する有害性 : 急性毒性 (経口) 区分 2、急性毒性 (経皮) 区分 1、皮膚腐食性・刺激性 区分 1、眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 1、特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) 区分 1 (心血管系、肺、中枢神経系、全身毒性)、特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露) 区分 1 (中枢神経系、心血管系、肺) 環境に対する有害性 : 水生環境急性有害性 区分 1、水生環境慢性有害性 区分 1 ラベル要素	
		
	注意喚起語 : 危険 危険有害性情報 : 飲み込むと生命に危険。皮膚に接触すると生命に危険。重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。心血管系、肺、中枢神経系、全身毒性の障害。長期に亘る反復暴露により中枢神経系、心血管系、肺の障害。水生生物に非常に強い毒性。長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。 安全対策 : 取り扱い後はよく手を洗うこと。製品使用時に飲食・喫煙をしないこと。眼・皮膚・衣類に付けないこと。粉塵・蒸気・スプレーなどを吸入しないこと。適切な保護具を着用すること。	
応急措置	眼に入った場合 : 直ちに 15 分以上水洗し, 医師の手当てを受ける。	

皮膚に付着した場合：汚染された衣服や靴を脱がせ、水で十分に洗い流す。

吸入した場合：新鮮な空気をあて、安静保温に努める。直ちに医師の手当てを受ける。遅効恐れがあるので観察し続ける。

飲み込んだ場合：すぐに吐き出すこと。中毒症状が出たら直ちに寝かせ暖かくしてやり、医者を呼ぶ。

火災時の措置	消火方法：・消火の際、有毒ガスを発生するので防毒マスクを着用する。 ・危険でなければ容器を安全な場所に移動する。 ・消火水や希釈水の流出による汚染に留意する。 消火剤：・無水炭酸ナトリウムで覆う。窒素ガスで封入する。 ・水、炭酸ガス、ハロゲン含有消火剤は不可。
漏出時の措置	乾燥した容器に回収後、多量の水で洗い流す。液体（水溶液）の流出は、砂又は他の不燃性吸収剤で回収後、多量の水で洗い流す。
取扱い及び 保管上の注意	取扱い：防塵マスク、ゴム手袋、防塵メガネ等を着用する。 保管：消火剤を備えておき、不燃性構造の貯蔵所に貯える。酸、金属、ハロゲン等混触危険性のあるものは同一場所で保管しない。直射日光を避け、暗所保管する。
暴露防止措置	管理濃度：設定されていない。 許容濃度 日本産業衛生学会：設定されていない。 ACGIH：STEL(C) 0.29ppm 設備対策：できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 保護具 呼吸用保護具：防塵マスク、活性炭などの吸着式マスク 保護眼鏡：防塵眼鏡、ゴーグル 保護手袋：ゴムまたはプラスチック製の手袋、ゴム長靴の着用 保護衣：保護衣
物理／	形状：凍結乾燥状態
化学的性質	沸点：データなし、蒸気圧：データなし、揮発性：なし、融点：データなし、比重：データなし、引火点：データなし、爆発範囲：データなし、粉塵爆発性：データなし
安定性／	安定性：法規制に従った保管および取り扱いにおいては安定を考慮される
反応性	反応性：金属との接触で爆発性化合物を生成する。酸と反応し猛毒のアジ化水素を生じる。
有害性情報	急性毒性：経口 ラット LD50 45mg/Kg 経皮 ウサギ LD50 20mg/Kg 吸入（蒸気・粉塵） データなし 皮膚腐食性：データなし 刺激性（皮膚、眼）：眼に対し刺激性がある。 がん原性：NIOSHは発がん性の疑いがあるとしている。
環境影響情報	水生環境急性有害性：藻類での96時間 ErC50 348 µg/L
廃棄上の注意	関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること
輸送上の注意	容器の落下、衝撃により破損しないよう丁寧に取扱うとともに火気に注意する。 酸、酸化剤、重金属、リン、硫黄、ハロゲン及びそれらを含有するものと混載しない。

適用法令

消防法：第2条危険物第5類（金属のアジ化物）

毒劇物法：指定令第1条（毒物）

労安法：施行令別表第1第1号（危険物・爆発性の物）

PRTR法：第1種指定化学物質

航空安全法：危規則第3条危険物告示別表第1（毒物）

航空法：施行規則第194条危険物告示別表第1（毒物）

港則法：施行規則第12条危険物（毒物）

その他（記載内容の問合せ先,引用文献等）

1)日本化学会,防災指針No. 100

2)東京消防庁警防研究会監修,第2版危険物データブック,丸善（1993）

上記の情報は調査して記載しましたがすべてを網羅しておりませんので、取扱いの際は十分注意してください。

本データシートは情報を提供するもので記載内容を保証するものではありません。